

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス すきっぷADVANCE		
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和8年2月25日		～ 令和8年3月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体力づくりだけでなく、ルール理解や協調性、挑戦する気持ちを育む支援。	野球やスキーなどの運動支援を中心に、子どもたちが楽しみながら身体を動かす経験を通して、仲間と関わる経験や「できた」をその都度伝え、達成感や自信につながるような関わりを大切にしている。	子どもたちが仲間と協力する経験や、一人ひとりが自分のペースで挑戦し、「できた」という経験を積み重ねながら自信につなげていくことができるよう、支援の充実を図っていく。
2	さまざまな経験を積むことができる活動内容。	SSTや制作活動、運動支援など、静と動のバランスを意識し、メリハリを持った支援を提供している。また、企業訪問なども取り入れ、子どもたちが将来働くことについて考えるきっかけとなるような経験につながる支援を行っている。	子どもたちがさまざまな経験を積み重ねることができるよう、新しい活動を取り入れつつ、静と動の活動をバランスよく組み合わせていく。
3	保護者さまとの連携を大切にし、相談しやすい環境づくりに努めている。	日々の送迎時のやりとりや連絡ノートなどを活用し、子どもたちの様子を丁寧に伝えるよう心がけている。また、時間がない時などは、改めて時間を設け対応するなど、保護者さまが気軽に相談できるよう、話しやすい環境を大切にしている。	保護者さまとの情報共有の機会を大切にしながら、子どもたちの成長や課題について共通理解を深め、よりよい支援につなげていけるよう連携の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全ての子どもが安心して通所し、楽しく過ごせる環境づくり。	放課後の過ごし方として「ゲームをしたい」「友達と自由に遊びたい」と感じる子どももいるため、活動内容や関わり方について、より一人ひとりのニーズに応じた工夫が求められる。	子どもたちが「また行きたい」と思えるよう、職員一人ひとりが、子どもと積極的に関わりながら、楽しさや達成感を感じられる活動の充実にも努めていく。
2	支援内容や子どもの状況についての情報共有が十分でない場面がある。	職員の勤務時間帯の違いにより、職員全体での情報共有の機会が限られていることが一因である。	今後は、勤務時間帯が異なる職員間でも共有できる方法を検討し、子どもたちの支援内容や状況について職員全体で共通理解をもてるよう努めていく。
3	地域との交流の機会が十分に確保できていない。	公園外出やTボール大会、スキー検定など、地域の中で活動する機会はあるものの、すべての子どもが参加できる機会にはなっていない。	今後は活動内容を工夫し、より多くの子どもが地域の中での経験をえられるよう検討していく。